

市民サービスの向上について

今村 直登 議員

「かえりの森」も園」について

今村 2月1日から恵楓園内に「かえりの森」も園」が開所した。認可保育所にできなかったのか。市長「「こども園」とも色々協議しましたが、無認可保育所を堅持したいとの発言があり、無認可となった。

小中学校のインフルエンザ対策について

今村 今年もインフルエンザが全国的に猛威をふるっているが、本市の状況は。教育部長 小学校5校、中学校1校で学級閉鎖があっている。

今村 佐賀県有田町でヨーグルトを食べさせ、インフルエンザ発症抑制に効果を上げている。本市でも活用できないか。教育部長 有田町では「R-1」という乳酸菌の入ったヨーグルトを食べさせ0.64%の発症で近隣の伊万里市や嬉野市では10.48%となっている。予防としての効果が上がっているようだが、本市では財政面から考えると実施はむずかしい。

市営住宅について

今村 市営住宅の入居申し込みのあり方について、改善の余地はないか。都市建設部長 現在は、空室が出れば広報等で募集を行ない、抽選を行ない、はずれた人には、1年間の補充番号で待機してもらっている。これでよいかは検討したい。

市民サービスについて

今村 自治会に加入していない家庭への広報等の配布について、現在はどうのように対処しているか。総務部長 広報こうし等は両庁舎、公共施設、コンビニ等で38か所、約1000部を配置し、個別に持って帰ってもらっている。



環境フェスタについて

丸内三千代 議員

「蓬原工業団地」について

丸内 平成21年、3年分割で合志市所有の土地4.8ヘクタールを合志技研株式会社と譲渡契約を結び今年3月最終支払いとしている。今後、この土地利用計画が遂行されること企業が誘致の礎となるものと期待しているが、取り組みは。産業振興部長 3月13日契約履行がなされた。今後は合志技研と話し合いをし、合志技研の土地と共に一体的に地区計画、開発行為等一緒に進めていく。

丸内 ①ごみ減量化計画どおりには進んでいない。②不法投棄の増加。③買い物袋持参率の向上等課題がある中、24年より隔年開催とした理由は。市民部長 一定の成果があったこと予算的なこと、集客等を考慮してのものである。今後は市民主導型のイベントになるよう検討する。

丸内 今予算においても廃棄物処理に係る費用は組合負担金を含めて約5.5億円の予算です。24年度環境行政予算は前年より減額予算になっている中、平成27年度までに一般廃棄物20%削減目標を達成できるか。市長 環境問題は、市民の関心と協力が大切である。補正予算を組んでも、環境フェスタはなんらかの形で毎年開催できるように継続していきたい。また、ごみの20%削減については、努力して目標達成できるよう市民に説明をし、ご協力いただきたい。



合併5周年記念事業の成果は？

坂本 早苗 議員

坂本 合併5周年記念として開催された事業と費用、その成果は。総務部長 毎年実施している事業、新たな事業あわせて8本のイベントを開催しました。①合志市産業祭「すいか祭り」②NHKのど自慢③アラジンと魔法のランプ影絵劇④JT小中学生バレーボール教室⑤合志市夏祭り⑥出張なんでも鑑定団⑦合志市男女共同参画気つきつなずきフェスティバル⑧合志市環境フェスタです。合計約2617万円、参加者26900人です。財政的に負担をかけないで、各課で行っている祭りを並び市内外に合志市をPRできた。

坂本 合併5周年の最大のイベントは夏祭りでしたが、今後の開催は。政策部長 24年度は8月17日に農業公園で開催予定です。レーザービームの特殊効果花火、合志音頭・千人総踊り等を予定しています。

坂本 24年度の環境フェスタは中止予定ですが、他のイベントと合同での開催や、規模を縮小してまじめに環境問題を考えるイベントとして取り組んでほしい。市民部長 24年度中に関係者との会議を行い、再検討いたします。

「安全な自転車走行を！」

坂本 交通事故件数が減少する中で、自転車対歩行者、自転車同士の事故が増加しています。自転車通学が多い中学校ではどのような指導を行っていますか。教育部長 自転車利用者の交通ルールとマナーの周知、反射材たすきの着用などの指導を行っています。特に自転車通学が全体の95%を占める合志中学校では生徒指導主事と自転車担当教諭を置いて交通指導を行っています。下校時には自転車歩道の混雑を解消するために一斉下校ではなく一定間隔を持たせて下校させるなどの指導も行っていきます。



夏祭り

地下水涵養

青木 照美 議員

青木 竜門ダムの貢献度は。産業振興部長 ダムより農地へ配水し15年経過した。年間1千万トン程度、地下水涵養に貢献している。

青木 水質保全に対しての企業のCSRは。産業振興部長 セミコンテクノパークの地下は地下水涵養がある。企業に対しては水のリサイクルに努める様に指導している。また企業によっては植林事業に参加している。

青木 地震と水質との関連は。水道局長 地震が起きると、震動により土や砂が水源地に入り濁ることがある。今年3月の地震でも濁りを生じた水源地があった。

青木 堤の管理計画は。産業振興部長 市内には十箇所の堤があり、農業や防火用に役立っている。上庄の堤は平成23年の集中豪雨で痛んだ。平成27年度に浚渫と土手の改修を行なう。野付の堤は、水草の除去を旧年実施した。以後は検討する。

青木 上庄の空き家を利用した事業とは。政策部長 現在、市内には一戸建ての空き家が620戸もある。放置すると防犯上もよくない。新規事業として「地域再生拠点創造事業」を始めた。たばこ屋さんの空き家を改修し各大学や地域の人と協力し「農業」と「食」を活かした地域づくりを計画している。地元より遊休農地を4.2ヘクタール借用し、スイートコーンや黒大豆を栽培する。上庄の農家より指導を受けながら、遊休農地を活用して農業実習を行ない、地域内外の交流の場をつくる。この事業が空き家解消、遊休農地解消のモデルとなるれば、これからの地域づくりに大いに役立つ。



上庄空き家利用事業